

情報元：奄美新聞社  
日付：令和4年2月2日

## たくさんの本にふれて

### 冲高生が小学校で読み聞かせ

【沖永良部】沖永良部校の児童に本の読み聞かせを行った。冲高部高校の生徒4人が1日、和泊町立大城小学校は初の試みで、地域へ



児童ら（右）の前で紙芝居を読み聞かせる沖永良部高校の生徒たち（左）＝和泊町の大城小学校＝

読書の輪を広げるとともに生徒のプレゼンテーション能力の向上を図ることが目的。

この日は、冲高の1、2年生それぞれ2人ずつが小学校を訪れた。小学1年生8人と2年

生4人の各クラスに分かれ、「おにぎり」や「ふくはつち」などの紙芝居を読み聞かせた。生徒らは、登場人物や状況によって声色を変えたり、抑揚を付けたりしながら読み上げた。

小学2年の芦原花咲さん（8）は「面白かった。また来いほ」と笑顔。

冲高2年の橋口和花菜さん（17）は「初めての経験だったので、ゆっくりと大きな声で読むように心掛けた。小学生の頃から、たくさんの本が読まれてほしい」と話した。